

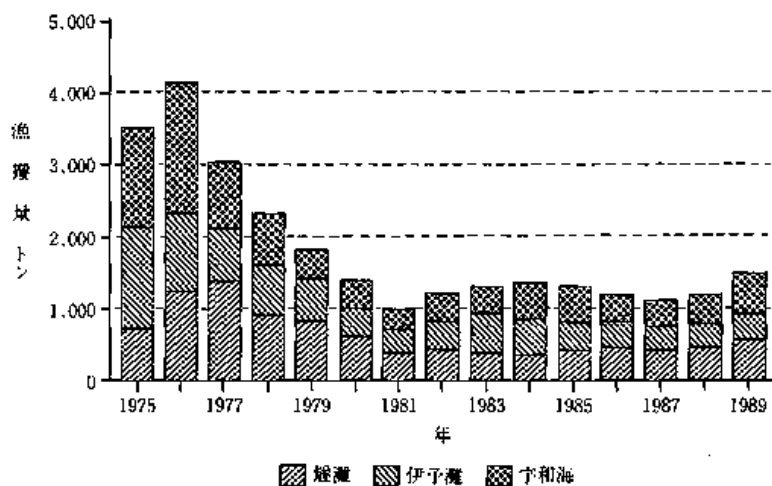
コウイカの産卵場づくりについて

東予分場 塩田浩二

1. イカの漁獲と消費

1985～1988年の総務庁統計によると、日本人の年間1人当たりの消費量は魚介類の中でイカ類が1.4～1.6kgで1位となっており、2位のサケ類(1.2～1.4kg)、3位のマグロ(0.8～0.9kg)に大差をつけています。これをみると日本人がじつにイカが好きであるかわかります。このイカ類の中には多くの種類のイカが含まれていますが、量的に多いのは太平洋や日本海で漁獲されるスルメイカ、アカイカ、ヤリイカなどです。瀬戸内海地域になじみの深いモンゴイカつまりコウイカ類は、全体のわずか1～4%にしか過ぎません。しかしコウイカ類は愛媛県の漁業資源として重要なばかりでなく、刺身用の地物のイカとして消費者の嗜好の面からも欠かせないものです。

愛媛県で漁獲されるイカとしては、コウイカ、シリヤケイカ、カミナリイカ、ジンドウイカ、ベイカ、ミミイカ、アオリイカなどが挙げられますが、漁業資源として重要なのは、やはりコウイカ、シリヤケイカそれにカミナリイカのコウイカ類3種類と考えられます。1990年の瀬戸内海でのこれらコウイカ類の漁獲量は1678トンでした。このうち50%以上に当たる848トンを愛媛県が占め、ダントツの1位でした。しかし愛媛県のコウイカ類漁獲量は1970年代前半まで4000トン以上あったのが、最近では1000トン前後のレベルまで減少しているというのが実態です。



愛媛県の海域別コウイカ類漁獲量の推移

2. コウイカの産卵生態

これらコウイカ類の中ではコウイカが最も重要な種類です。コウイカの産卵生態をまとめると次のようになります。コウイカは産卵に先立ち交配します。交配行動は、雄が雌に抱きつき、精子の入った「精しょう」というカプセルを体から取り出し、それを雌の口の周りに押し当ててカプセルを破り、精子の塊をそこへ植え付けると言われています。交配行動は雄と雌が対面して腕を絡ませる形式で産卵場となるところで行われ、産卵の数週間前から始まります。産卵は、通常、海底に生えた海藻などに雌が卵を腕で1個ずつ産みつけていく方法で行われます。産みつけられた卵はブドウの房のような外観となり、白い半透明の色をしています。雌は外敵に卵が発見されにくいように泥や砂を卵に付けて、周囲の色に似せています。



写真1 投入中の産卵用付着材



写真2 産みつけられたコウイカの卵

3. コウイカ資源増大方法の試み

先述のように愛媛県のコウイカ類漁獲量は、近年減少傾向にあります。そのためコウイカ類のなかでも最も重要なコウイカの資源を増やす方法を昨年から検討することになりました。手始めとしてコウイカの産卵用の付着材を海の中へ沈めて、それに産みつけられた卵を保護して資源の増加に結びつかないかと考えました。長さ30～50cmの細いロープを数十本束ねて、産卵期の初めにあたる3月に小部湾に沈めました。(写真1)小部湾はコウイカの産卵期である春季に漁獲があり、産卵場と考えられる海域です。

3月に海底に沈めた付着材を5～6月に引き上げてみると、1個の付着材に数百から多いものでは数千ものコウイカの卵が産みつけられています。(写真2)産みつけられた卵はコウイカのもののばかりでなく、カミナリイカやアオリイカの卵も多数ありました。コウイカは孵化したとき5～9mmですが、成長が早く、秋には外套背長(胴の部分の長さ)が10cmを越え漁獲対象となり、秋以降餌を求めて回遊した後、翌春には親イカとして産卵に帰ってくると考えられます。ですから付着材に産みつけられた卵が順調に孵化、成長して漁獲に結びつき、その効果がどの程度であるか推定できれば、試験は成功ということになります。

しかし海藻など自然に産卵する基質が海の中に豊富にあれば、わざわざ人間が沈めたロープに卵を産みつけなくてもよさそうなものです。最近の漁獲量減少の一因は、この辺にあるかも知れません。ただイカ玉などの漁業は昔からあり、海藻でなくてもコウイカは海底上の手ごろなものであれば何にでも卵を産みつけるのかも知れません。付着材の投入というのはコウイカに確実に産卵させるという効果があり、資源の増加に結びつく可能性があります。しかしそれは自然の代替的な手段です。重要なのは、コウイカだけでなく水産生物全体の産卵場、育成場として沿岸域の自然環境を保持、整備することであると考えます。

参考文献

- 1) 奈須敬二・奥谷喬司・小倉道男: イカーその生物から消費まで― 水産海洋学会刊行シリーズ1. (1991)
- 2) 中四国農政局統計情報部: 平成2年瀬戸内海地域の漁業. (1992)
- 3) 愛媛県中予水産試験場: コウイカ増殖場造成技術開発試験、愛媛県中予水産試験場事業報告平成3年度. (1992)